走れ！きぼう GO　NO３

たかつきライブラリーフレンズ

2018年９月１５日発行

この暑い厳しい夏、あまりにもたいへんなことが多すぎました。

私たちの会では「図書館を知ろう！」ということで「子どもゆめ基金」の助成（文庫連）を受けて、皆さんと共に「学びの場」として「連続講座」をもつことができております。

ひと足、ひと足の歩みです。今後もよろしくお願いします。

たかつきライブラリーフレンズ始動です！

今年度、高槻文庫連絡会主催「図書館を知ろう！」連続講座にゆめ基金活動助成がおり、たかつきライブラリーフレンズ(TLF)は、この５回連続講座をともに、展開中です。
すでに、２回実施、定員オーバーの盛況でした。ご参加の皆様有難うございます。

図書館を知ろう！連続講座　2018年度

①　7月21日(土)　垣口弥生子氏「日本の図書館・地域の図書館」

②　8月18日(土)　鎌倉幸子氏「本でよりそう復興支援」

★③　9月30日(日)　猪谷千香氏「未来につながる図書館のために」

→同封チラシご参照ください。

④　11月24日(土)　飯田寿美氏「学校図書館って何ですか？」仮題)」

⑤　2019年1～2月頃予定　「地域の具体的サービス(仮題)」企画中

会報　NO3　目次

P2　「図書館を知ろう！」連続講座　第一回　垣口氏　講演会　報告と感想　　「高槻文庫連絡会」より

P3　「図書館を知ろう！」連続講座　第二回　鎌倉氏　講演会　報告と感想

P4　「こんな絵本いかが？」「第一回　図書館協議会　報告」「まちかどニュース」 など

７月21日（土）　垣口弥生子さん講演会　「日本の図書館･地域の図書館」

高槻市生涯学習センター第三会議室　参加者：29 名

今、日本の図書館は、地方自治体の財政難による人員削減・サービス縮小などの問題を抱えていて、その「解消」策として“運営の民間委託化”が押し寄せて来ています。

そこで、私たち市民にできることは何かを考えようとしました。

日本の公共図書館の住民参加活動の歴史は、図書館設置運動から図書館ボランティア活動へと広がってきました（1960～1990 年代）

現在では、図書館と利用者のパートナーシップを目的とした図書館支援グループが各地に誕生。こうした組織は、図書館の業務支援だけでなく、図書館振興を目指す点で、アメリカ図書館友の会と似ています。公共図書館が、地域住民の情報アクセスを確保する点で他の文化機関が担うことのできない役割をもっていること、図書館の持つさまざまな機能は、コミュニティの公共空間を動的につくりだす可能性を内包していることを利用者に広く知らせる活動です。

日本各地の公共図書館の取り組みの例を DVD で紹介して、高槻でもできること、もっと進めたいことなどを話し合いました。

当日、紹介本２冊

◆『拝啓　市長さま、
　こんな図書館をつくりましょう』
◆『地域人』　第３３号/地域構想研究所

【当日感想アンケートより抜粋】

〇語り部をしているが、ずっと、自分がどうかかわれるかを模索してきたが、今日の岡山のＤＶＤを見せてもらって、こういうことだったら、できるんじゃないかと、とても参考になった。

〇なかなか厳しい状況であったとしても、「移動図書館は必要」と言い続けるべきだ。まちごととＢＭを、そして、図書館と市民とが、うまく、協同しあい、ワークショップなど展開しあいながら、やっていく方法があるのでは？

〇移動図書館は、絶対に必要。天神山図書館に廃棄せずに、おいているだけだ。たとえ、スケールダウンしても、待っている人たちのところへと移動図書館は、稼働するべきである。定期的に回ることに意味がある。

〇たとえば、地域のイベントに、その日だけでもブックカフェと銘打って、ＢＭがやってくるといったことも、また、盛り立てる一つのきっかけ、ＢＭはまだこんなに役立ちますよ～のＰＲになるのではないか？

高槻文庫連絡会より

「学校図書館ボランティアサポート講座」３回連続講座展開中！

７月は服部図書館で、大阪国際児童文学財団の土居安子さんによる児童書２００連発！紹介される本をどんどん借りてゆく支援員さんボランティアさんたちの頼もしいこと！子どもたちに届けて下さいね～♪

第３回は 12 月 15 日、塩谷京子先生を予定。問い合わせ・申込は TLF または文庫連まで。

大竹英洋氏「写真展＆スライドトーク」開　催　！！

10 月 6 日（土）～14 日（日）中央図書館おはなし室にて、北米ノースウッズの大自然の写真を撮る大竹英洋さんの写真展を開催。（9，11 日は休館日）

14 日（日）は生涯学習センター３Ｆ第２会議室でスライドトークがあります。写真に加えて動物たちの珍しい行動の動画、ヘラジカやオオカミを呼ぶ実演など興味惹かれる内容です。ぜひ！

8月18日（土）　　鎌倉幸子さん講演会

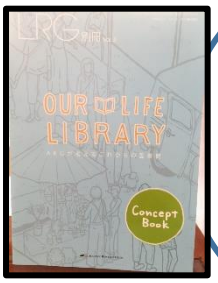
「本でよりそう復興支援―移動図書館だからできることー」

高槻市生涯学習センター研修室　　参加者：54 名

東日本大震災時に移動図書館で復興支援にあたった鎌倉さんのお話。移動図書館が休止して１年半、６月の地震から２ヶ月のわれわれ高槻市民にとっては、より実感を伴って響くものでした。

震災時に不足する食糧、水、そして情報。情報基地としての図書館の役割は果たして機能していたでしょうか。本は置いてあるだけでは誰も触ることができない、人の手が介入することで初めて回り出す、ということ。移動図書館が運行することによって、さりげない安否確認、情報交換、情報収集が可能になること。貸し借りなどの生活ルールがあることで取り戻せる日常性。古代エジプトのテーベの図書館の入り口には『魂の治療所』という言葉が記されていたという。高槻にも「こんな時こそ図書館」といわれる図書館があってほしい、移動図書館を捨てないでほしい、との願いをまた新たにする機会となりました。

著書



全国各地で公共図書館支援活動を展開するアカデミック・リソース・ガイドの活動も興味深い！図書館の可能性！

【当日感想アンケートより抜粋】

〇大変貴重なお話を聞かせて頂きありがとうございました。3,11 に比べれば何でもなかった様な地震でも、大人になって初めて体験した 6,18 の地震で水が止まり、学校が休みになり、余震におびえた日々で、私はスマホ，インターネットを使って情報を集め、近所の方々と共有する事をしましたが、情報難の怖さを改めて感じました。

〇震災の現状を知ることが出来、移動図書館が担う役割の重要性がよく分かりました。「魂の治療所」は心が踊るようでした。

〇災害時には本当に必要な移動図書館や、図書館の大切さを改めて強く思いました。
鎌倉さんの足で体験された事に、本当に深く感銘しました。

〇人が人間らしく生きるために、本は必要、そして、そこに人と人の交流がなければならないことを、改めて思いました。移動図書館はやっぱり必要です。

〇被災地に元気をお届けいただいたことが生き生きと語られ、私も元気をたくさんいただきました。

〇鎌倉先生のユーモアを交えたいいお話をきくことが出来、大変良かったです。

〇自分の生活の中での本の大切さを感じておりましたが、本日の講演で、こんなに深く心から本と結びついたお話を伺ったのは初めてでした。感動と共に配慮の深さと移動図書館の必要をあらためて思います。

〇本を届けるだけでなく、情報や憩いの場を届ける役割を忘れずにいきたいと思いました。非日常の中で本や図書館が人々の支えとなったことに、図書館で働くものとしてとても励みになりました。

〇本によりそう復興支援、タイトルにふさわしい内容でした。こんなに本を通して被害者の方々のことを考える。どの場面でも本だけでなく大切なことだと思いました。日頃から、この感覚で想像しイメージしてものを考える大切さです。いいお話ありがとうございました。

こんな本いかが？

ヨシタケシンスケ『あるかしら書店』(2017 年 6 月、ポプラ社)

ロボットが私たちの領分を脅かすと巷でいわれだしている
とはいえ、人にはロボットには占領されない想像力・イマジネーションの領域！があるんだぞ。ヨシタケさんはこんな時代に待っていたように登場。
本だからこそ描けるイマジネーションの力でゆかいな本屋さん、
そして図書館「ラブリーラブリーライブラリー」を登場させています。
「本とはなにか」をニヤニヤしながら描いています。一読を！。

図書館協議会　2018第一回

８月１０日（金)、今年度の第一回図書館協議会が開催されました。
主に①これまでの事業報告、今後の予定。②四月より事業展開している「まちごと図書館」、③市内の各図書館の「大阪北部地震の被害状況」と現況などの報告がありました。詳細は図書館ＨＰの協議会議事録および「高槻にみんなの図書館をつくる会」会報をご参照ください。

まちかどニュース

夏のおはなし会で南京玉簾
初披露！お見事♪

この夏（7/26）文庫連メンバーが出前で柱本小学校へ行き「夏のおはなし会」をもった。

この地域は放課後子ども教室の「はしらっこ」や多文化子ども交流事業「はな教室」などはあるが、図書館からは遠く移動図書館が来てくれることを切望する地域である。

絵本やおはなし、手作り工作などをし、「またきてね！」という子ども達の笑顔と声を後にした。公平に受けるべき本の文化から切り離されたような高槻の南部地域へ、今後も仲間と本の交流ができればと願っている。

指宿発 ブックカフェ「そらまめ号」高槻に♪

今秋、10 月 25 日（木)、26 日（金）指宿から「ブックカフェそらまめ号」がたくさんの絵本などをのせて、やってきてくれます。

三箇牧・五領・樫田地区の三か所で、楽しいイベントをして下さいます。とっても可愛い素敵な車体です。ぜひご参加を！ご来場お待ちしています。

時間・場所など詳細は、「ブックカフェ　そらまめ号」で検索を！

ＴＬＦは微力ながら、高槻文庫連と共に協力する予定です。

わがＴＬＦのフェイスブック更新中！ぜひアクセスを情報満載です。

https://www.facebook.com/kibougo/

2018 年 9 月 15 日　発行
編集・発行　たかつきライブラリーフレンズ（ＴＬＦ）
（旧「高槻の移動図書館再開をもとめる会―走れ！きぼう号」）
（高槻市月見町 7－30　廣田方　　事務局　垣口・角所・森井）
coire2004@hotmail.com